

令和6年度 社会科 年間シラバス

朝霞市立朝霞第一中学校

学 年	2年	教科 書	地理 (新しい地理) 東京書籍 歴史 (新しい歴史) 東京書籍 地図帳 (中学校社会科地図) 帝国	地理 地理の資料集 (浜島書店) 歴史 歴史資料集 (とうほう) 問題集 地理・歴史 (明治図書)
--------	----	---------	---	---

1 学習到達目標

中学校で学ぶ「社会」は、地理的分野・歴史的分野・公民的分野に分かれます。2年では、地理的分野の日本のさまざまな地域と歴史的分野の立憲制国家の成立までを学習します。

中学校社会科の教科としての目標は以下の5点です。

- ① 広い視野に立ち、社会に関する関心を高めること。
- ② 資料に基づいて多面的、多角的に考察すること。
- ③ 日本の国土と歴史について理解と愛情を深めること。
- ④ 公民としての基礎的教養を養うこと。
- ⑤ 国際社会を生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うこと。

3分野の学習を通して、これらの達成を目指していきます。

2 学習方法

社会科には各単元の目標があり、そこから各時間の学習のねらいや目標が設定されています。今日の授業のねらいは毎回板書し、確認しますので、意識しながら授業を受けましょう。そのねらいにせまるために、先生が講義するだけでなく、自分で考えたり、自分の考えを言ったり、友達と交流したりする場面に授業内に設定していきます。指示をよく聞き、今何をすべきなのかとらえて授業の流れについていきましょう。授業の終わりにはねらいに対するまとめができる状態になっていることが大切です。忘れ物をしたり、配布物をなくしたり、宿題忘れをしたりするとそれだけで全体の学習の動きに対応できなくなりますので気を付けましょう。また、休んでしまった場合は授業プリントをもらい、友だちに見せてもらって記入しておきましょう。

- ① 自分の理解状態をつかむこと。

学習する時に大切なことは、「どこが分かっているのか、どこが分かっていないのか」をはっきりさせることです。プリントやノートの余白に言葉の意味をメモしたり、教科書で調べたりして基礎的知識を確実にしていくことが大切です。

- ② 学習したことどうしの関係をつかむこと。

学習することは、バラバラな知識を詰め込むことだけではありません。自分がそれまでに知っていることがらと結びつけることが大切です。イメージマップを使って知識をつなげていく学習も効果的です。

- ③ 社会科に関心をもてるような工夫や環境づくりをすること。

テレビのニュース、新聞などにできるだけ関心をもち、家族と話をしたり、地図で確認したりしましょう。100円ショップでも世界地図や日本地図を売っているので、テレビの横に一枚常備（できれば掲示）しておくことをお勧めします。

3 家庭学習

社会科では予習よりも復習に力を入れてほしいと思います。

- ① **まず自分が何をよくわかっていないのかを知ること。**

・授業のプリントやノートを見返して、自分はどこをよく理解していないのかを確認する。わからない言葉（人物・出来事）はそのままにせず、教科書を読んで理解したり、家庭学習ノートに箇条書きでまとめたりする。図や表に書くのもよい方法です。

- ② **問題集を繰り返し解く。**

・問題集を繰り返し解いて、問題や資料に慣れることが大切です。出題パターンを覚えることで、大事なところが自然と身につきます。

- ③ **すぐに復習する習慣をつける。**

・1回の授業の内容はそれほど多くはありません。その日のうちに学習したところを問題集で復習しましょう。1回目は家庭学習ノートにやり、テスト前には直接ワークに書きこんで理解することが大切です。

4 学習内容及び評価について

月	学 習 内 容	試 験	評 価 観 点	評価の場面・方法
4	オリエンテーション ＜歴史＞【近世の日本】 1 ヨーロッパ人との出会いと 全国統一	中間 試験	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○社会的事象への関心を持ち、その課題に意欲的に取り組み、よりよい社会について考えていこうとする姿勢が見られるかどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対し積極的に解決しようという姿勢で臨めたか。 ・学習を通じて新たな課題を持つことができたか。 ・学習した内容の到達・未到達点についての具体的な分析ができたか。 ・未到達な内容についてどれだけ努力できたか <p>思考・判断・表現</p> <p>○社会的な事柄について、自分で問題を見つけ、それについて多面的、多角的に考え、公正に判断し、適切に表現することができるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対しデータに基づいて多面的に考察できたか。 ・課題を追求する方法を工夫して考えられたか。 ・学習を通して、自らの生活と照らし合わせ新たな課題を持つことができたか。 ・思考を問う問題を解くことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの記入状況 ・授業態度（発表等の積極性、忘れ物の状況） ・提出物の状況 ・学習課題への取り組み方
5	＜地理＞ 1 地域調査の手法	期末 試験		
6	2 日本の地域的特色と地域区分			
7	1 江戸幕府の成立と対外政策 2 産業の発達と幕府政治の動き			
9	＜地理＞ 1 日本の諸地域	中間 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・記述式テストの状況 ・レポート作成状況 ・グループワークの取り組み状況 ・自分の考えの発言、記入状況 ・提出物の状況 	
10				
11		期末 試験	<p>知識・技能</p> <p>○我が国の国土と歴史など社会的事象に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の活用の方法を身につけることができたか。 ・さまざまな統計・歴史資料や地図などを読みとることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用した各テストの状況 ・提出物の状況 ・ワークシートへの取り組み状況 ・授業内の学習課題への取り組み
12	＜歴史＞【開国と近代日本の歩み】 1 欧米における近代化の進展	学年 末試験		

1	2 欧米の進出と日本の開国	年 末 試	<ul style="list-style-type: none"> ・調査した内容をわかりやすく伝えることができたか。 ・調査した内容を工夫してまとめることができたか。 ・資料を読みとる問題を解くことができたか。 ・知識や理解を問う問題を解くことができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
2	1 明治維新			
3	1 日清・日露戦争と近代産業	次 年 度		

4 評価について

(1) 評価の観点 (各観点 A～C の 3 段階)

- ① 知識・技能
- ② 思考・判断・表現
- ③ 主体的に学習に取り組む態度

A→十分満足している
B→おおむね満足している
C→「B」に達していない

(2) 評定

上記の 3 つの観点の A～C の組み合わせにより、「教科として 1～5 の評定が つきます。また、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料に基づいて評価します。